

仕事が楽しい人 F i l e . 5 5 : 櫻井喜美子さん (相撲ファン)



◆お母さんのお腹にいる時からの相撲ファン

今回は、仕事が楽しい人の趣向を少々変えて、  
生まれた時から相撲ファンであり続けている、櫻井喜美子さんをご紹介します。

今から遡るコト数十年前、櫻井さんはお母さんのお腹の中で、  
横綱朝潮太郎の引退相撲を観戦しました。

櫻井さん曰く、この時が熱烈なる相撲ファンの始まりなのだそうです。

櫻井さんの幼少時代、相撲と野球は日本人がこよなく愛したメジャースポーツだったので、  
女の子でも当たり前のように相撲を見ていると思っていました。(実際には、女の子は野球、特に  
相撲はあまり見ていなかったとのことですが、櫻井さんはそう信じ切っていたようです。)  
文京区で生まれ育ったのも、櫻井さんが相撲を身近に感じる手助けにもなったようです。  
それは、自宅近くに2つの相撲部屋(木瀬部屋、伊勢ヶ濱部屋)が所在し、  
日常的にお相撲さんを見られたからです。

櫻井さんのお父様はとある企業の経営者で、毎場所お客様を伴って国技館に足を運ぶ常連  
だったため、ここに櫻井さんも同席していました。

すると、お相撲さんが土俵入りする際に流れる場内アナウンスの前に櫻井さんが、  
出身地や所属部屋を案内してみせ、同席したお客様から、

「お嬢ちゃん、相撲のこと詳しいね」

と驚かれたそうです。

小学生の頃の愛読書は、月刊誌の「相撲」と「大相撲」。

毎月、穴が開くほど読んでいました。

当時は国技館の場内規制もそれほど厳しくなく、支度部屋の前まで入って行きました。

貴乃花にぞっこだった櫻井さんは貴乃花を目の前で見るために（体にさわるために）、支度部屋の前で、いつも待っていたそうです。

このころになると相撲観戦中の解説も、

「女兄弟の中で育ってきたから、こんな相撲しか取れないのよね」

というように、かなり大人びた内容になっていたようです。

あまりにもものめり込んでいたので、ふと気がつくとき、締め込みやお尻を見ただけでお相撲さんの名前が言えるようになっていました。

中学生になると、お相撲さんをオジに持つ同級生と友だちになりました。

放課後、この友だちと一緒にセーラー服のまま相撲観戦に出かけました。

中学校が靖国神社に近かったので毎春行われる奉納相撲を、部活をさぼって見に行ったりもしました。

奉納相撲は力士もリラックスしているので、国技館では出さない表情やしぐさを見られるので、部活をさぼってでも見に行く価値があったのだそうです。

中学校時代に知り合ったお相撲さんをオジさんに持つ同級生はその後、

伊勢ヶ濱部屋の親方と結婚し、おかみさんになりました。

この縁も重なり、櫻井さんが今、熱烈に応援する力士は、日馬富士。

櫻井さんに「日馬富士のどこが好きなのですか」と尋ねると、

櫻井さんは、待っていましたとばかりに話し始めました。

「身長は186cmあるんですけど、体重は135kgしかない超軽量。

にもかかわらず横綱にまで出世できたのは、激しい稽古をつんだからなんです。

朝稽古を見に行くと、本番さながらの真剣さでぶつかり、のど輪も相手の力士が気絶するんじゃないかと心配になるほど厳しく決めて、壁にまでぶち付けています。

日馬富士に稽古をつけてもらった照ノ富士がみるみる強くなったのも、このためです。

相撲の世界では、横綱は神様。ですから、序ノ口や序二段の下位のお相撲さんはいおそれと横綱に近づけません。でも、日馬富士は『筋トレと一緒にしよう』と、彼らに気軽に声もかけるんです。そして『僕も入門当初は君たちと同じように華奢だったんだ。でも、しっかりチャンコを食べて鍛えれば、体も大きくなって関取になれるからね』と若手を励ま

すんです。日馬富士のお父さんは、交通事故で亡くなっていて、救急車が早く到着してくれていれば父は助かったと信じる日馬富士は、日本の中古の救急車を譲り受けてモンゴルへ送る慈善活動もしているんです。・・・

先日の照ノ富士の大関昇進パーティーでは、『お母さんの具合どうですか』って、私の母への気遣いもしてくれて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・」

この後も、櫻井さんの話は止めどなく続きました。

#### ◆櫻井さんが大切にしているキーワード

稽古は裏切らない

稽古をしっかりとやっている子は、ゆっくりでも必ず上がってきます。

また、朝稽古で横綱やベテラン幕内が10代の子どもの胸をかし、それに必死でくらくらつく子たちの姿を見ると眼頭が熱くなります。

#### ◆櫻井さんのパワー〇〇

場所前の番付発表

毎回、この発表を目にするとワクワクした気分になります。

#### ◆櫻井さんのコツコツ

気になった力士の情報を調べた上で取り組みを見ること

小さい頃から続けてきて習慣化しています。

午前中から取り組みを見に行くと、楽しみながら自然に覚えられます。

#### ◆子どもに子どもを会わせた櫻井さん

櫻井さんに相撲ファンになって楽しかったことを質問すると、

「最近、相撲ファンが増えているのが嬉しいです。」

息子のお友だちのお母さん方や私の友だちから、一緒に相撲観戦に連れて行ってと言ってもらえる機会がかなり増えました。

去年は、友だちと一緒に九州場所を見に行っていました。」

と嬉しそうに語る櫻井さんから、

「でもね～」

と、心配そうな表情で一言が。

「相撲会場にいくと、お相撲さんの出待ちをしているたくさんの女性ファンがいて、

お相撲さんの姿が見えると『キャー』という黄色い歓声があがるんですけど、

彼女たちの大半は、力士たちの名前を覚えていないんですよ。

イケメンのお相撲さんを追いかけるのはいいんですけど、相撲のことをもっと知ってもらわないと、若貴ブームのように相撲人気が一過性に終わるとやだな、なんて気をもんじゃ

うんです。」

私は、相撲ファン一筋の櫻井さんだからこそその不安感が、少しだけわかる気がしました。

ここで気持ちを切り替えようと、矛先を変えて櫻井さんに、

「相撲ファンを長年続けて来て、自分の人生に何か影響したことはありますか？」  
と質問してみました。

すると櫻井さんは、

「狭い世界しか知らない自分の視野が、少しだけ広がったのかもしれませんが。」

家庭に入り妻と母という役割だけでは得られない体験を、相撲ファンだから得たというエピソードを、櫻井さんは披露してくれました。

「相撲部屋に足を運んでいると、入門当初のマグも結えない時からその子のことを見るので愛着がわくんですよね。先輩から、ほうきの使い方がなっていないと怒られたり、脱走して呼び戻されたりしている子が、いつの間にか一人前になっていくんですけど、まるで我が子のように彼らの成長が気になるんです。」

「ある子は中学時代、何回も警察に呼び出されるような荒くれでした。何をしていたのかというと、鉄パイプを持って他校の生徒と喧嘩したりして、先生の手にも負えない生徒だったようなんです。こんな彼が、小さい時から相撲が好きだったという理由で、中3の時に部屋に入門してきました。背は低いんですけど、運動神経が良くて頑張り屋なので、順調に成長していきました。こんな彼を見ていて、私はふっと閃いたんです。性格が全く違う自分の息子と合わせたらどうなるかなって。年齢も同じだったので、強引に合わせました。」

そうしたら、二人は意気投合したみたいで、お互いの目標を達成し合おうと約束してきたというんです。「関取になる」「医者になる」という目標をそれぞれ達成しようなど決めたんですって。それから、二人が意識し合っているのがわかるんですよね。

彼は最近、妹が大学に行きたいと言っているから、関取になってお金を出してあげたいと言いつけてもいるんです。凄いいと思いませんか？」

日馬富士の話と同じように櫻井さんの話が熱を帯び、終わりそうもなくなってきました。

そこで、櫻井さんには、

「相撲部屋から見習うことはありますか？」

と、今回の結びの一番の質問を投げかけました。

櫻井さんから、

「そうですね、部屋のおかみさんの弟子に対する考え方ですね。」

おかみさんは弟子たちに“ちゃんとした職に就かせて所帯を持たせる”までが、自分の務めだと心得ているんですね。厳しい稽古やしつけに耐えた子は、どんな社会でも通用する。だから弟子たちには、自信を持って就職先を斡旋できるんですって。

おかみさんは『手におえない子を私に預けてくれたら、絶対に一人前にしてみせる』とも言っています。素敵ですね。」

櫻井さん取材してみて、

「たかが相撲ファン、されど相撲ファン」

という言葉が浮かびました。

スポーツ選手や芸能人が、「ファンがあつての私です」とよく口にしますが、彼ら彼女らが感謝する本当のファンは、櫻井さんのように、プレイヤー本人だけではなく、そのスポーツや芸事全般に、一心に思いを込めている人なのだなと感じ入りました。

#### ◆櫻井さんのプロフィール

職業：相撲ファン

所属：伊勢ヶ浜部屋（部屋のおかみさんと親交があるため所属欄に記載しました）

#### ◆相撲ファン（好角家）とは？（好角家）

（ウィキペディアより抜粋）

好角家（こうかくか）とは、相撲観戦が好きな人物、相撲ファン、相撲通のことである。取り分け大相撲ファンを指す。「角」は、相撲の別称でもある角力（すまひ、かくりき）から来ている。

横綱審議委員会会員や大相撲関連組織の中には、好角家であり、相撲好きが高じて委員になった者もいる。例えば内館牧子、やくみつる、六代目澤村田之助などがそうである。また、デーモン閣下は本業に並ぶほど大相撲評論の仕事が増え、評論家・解説者の地位を得るまでになった好角家である。

#### ◆相撲ファンに求められる能力

童心力：子どもころの感性を持ち続ける力

一貫力：世の中の流行に振り回されず、自分の好きを貫く力

相撲愛：特定の関取のファンに留まらず、相撲界全体を愛する力

行動力：相撲人気のあまりチケット予約がしづらくなってもネット予約をし切る力

発信力：相撲への思いを他者が聞こうが聞くまいが、構わず発信する力